

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立津山工業高等学校		
実践者等	西中麗奈	実践日	令和3年7月1日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語・国語総合		
対象生徒(学年等)	1年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	俳句		
使用したアプリ等	ドキュメント、Jamboard		
実践の概要(ねらい等)	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句の鑑賞文を書くことで、自分が選んだ俳句をより深く味わう。 ・ドキュメントを用いて文書の作成をするための基礎的な方法を学ぶ。 ・Jamboardを用いてお互いの鑑賞文を読み合い、視野を広げる。 		

実践の内容

- 1 俳句と、俳句の鑑賞文についての基礎知識を授業で学習する。
鑑賞文については、俳句・作者、所収、季語・季節、鑑賞文(その俳句における表現の工夫)、妄想(俳句から自分が想像した情景や物語)を書くように伝える。
- 2 本校図書室に俳句に関する本を集めてもらう。(県立図書館からもお借りした)それらの本の中から好きな俳句を一句選び、鑑賞文を書く。
- 3 「ドキュメント」の基礎的な使い方を学び、見本と同じ書式になるように編集する。タイトル、フォントの選び方、文字サイズの変え方、斜体の使い方を見本で示した。また、余裕がある人は写真を入れても良い、と指示を付け加えた。
○ドキュメントの使い方はWordと似ているところが多いため、汎用的に活用することができる。
- 4 出来上がった鑑賞文を「Classroom」の課題を通じて教員に提出する。
○課題として提出させれば、インターネットに類似する文章がないか調べる機能を使うことができるため、ドキュメントはレポート課題の提出方法として非常に有効である。
- 5 自分の鑑賞文をスクリーンショットし「Jamboard」に貼り付ける。クラスの他の人の鑑賞文を読み、良いと思った作品に付箋でコメントをつける。
○直接言うよりも感想を一言程度書かせることで生徒はコメントをつけやすい。付箋には名前ではなく出席番号を記載させる。
《協働的な学習》

!ドキュメントのタイトルは「出席番号俳句鑑賞文」
※本文の色は黒で統一

しんしんと 肺碧(あお)きまで 海の旅
(斜体、MSP明朝、18pt、575がわかるようにスペース読み方が分りにくくいもにはふりがな)
篠原風作 (-MSP明朝、16pt)

「天の川(昭和9年)所収、無季俳句。
「しんしんと」の沁み入る感覚と「肺碧きまで」の鮮やかな色感のみことな融合によって、忘れがたい印象を生む。青ではなく碧とすることで、緑がかった海の色の鮮明にイメージできる。(鑑賞:3行以上)
作者は海を見ている。不意に衝動に駆られ、揺れる波間に身体を投げた。ゆっくりと沈み、そして浮き上がっていく間に、海が肺まで沁み込んでくる気がした。このまま遠くまで流されてあてもない旅に出てしまいたい、作者は思う。
(妄想:4行以上)

(Arial, 14pt)
(項目ごとに段落分けを行う。)
(写真はあってもなくても良い。入れる場合は俳句と関係のある写真に限る。それ以外が入っていたら減点)



※ネット上で探した文意をそのまま使わないこと。本やネットの文意を「参考」にして、自分で文章を考える。

元日や おもへばさびし 秋の暮
松尾芭蕉

『高鶴短冊』(1683年)所収。季語「元日」。季節「新年」。切れ字「初句切れ」。
秋の暮れの静けさと、元日の静けさは全く意味が違うのに、元日の静けさを晩秋にたどるのは、とてもダイナミックでイメージもしやすい。そして、元日を過ごす中で、秋の暮の寂しさを思い出すのは、なかなか思いつかないと思った。
大晦日は、年の最後でみんな、バタバタし、とても忙しいが、元日になると、少し落ち着き、みんなが家でゆっくりできるため、街に出ても、とても静かで、その静けさが、秋の暮れの静けさに似ていると思う。そして、秋が恋しくなり、また、来年も今年のような秋の暮れの静けさと元日の静けさを比較できることを願っている様子を筆者は思っている。



26 今日晴れ トマトおいしい とか言って 越智友亮

「おらぼつと」(2015年)所収。季語「トマト」。巻頭「夏」句の中の「今日は晴れ」、「トマトおいしい」といった夏の日の中で使うような言葉が書かれていることで、暖かくて、柔らかい印象を受ける。句の終わり方が特徴的。
快晴の下、強い日差しに照らされ、湿い汗をかいた作者は、自分自身の笑顔を見た。友人と着衣の下ですくすく食べた。みずみずしいトマトを「おいしいね」という感想を口々にしながら、食べた。作者の心は、とても満たされていた。

「おいしい」といふ言葉が作者の気持ちや印象を伝える。2
29 柔らかく作者自身の楽しさや印象を伝える。2
08 ほのぼのとした妄想で良いと思いました。
「トマト」の静けさを感じていて安から面白い。
夏って感じが伝わってくる29
35 俳句で表現しようとしている内容が鑑賞文からよく伝わってくる。



参考となるHP等